

序

農地の生産力の尺度として、土壤中の有効成分をあげることができるが、これらについては、従来から多くの測定調査がなされてきた。しかしながら、土壤の全含量については、作物との相関が示し難いこと、分析操作が煩雑なこともあって、近年ではほとんど測定されていない。特に微量成分については、断片的な調査に限られ、広い地域にわたり統一して実施された資料は少ない。

1971年から、土壤汚染防止対策調査が農林省の事業の一環として開始され、北海道の主要な農地を対象に、重金属の含量分布調査を行ってきた。本資料は、その内1973年度に採取した試料について、重金属の他に主要な土壤成分も追加して分析し、その結果をとりまとめたものである。

この資料を研究者だけでなく、普及・行政指導にたずわる技術者に、基礎的な資料として、また土壤診断の1つの参考として活用していただければ幸いである。

昭和52年11月

北海道立中央農業試験場

場 長 島 崎 佳 郎

北海道農用地の土壌成分

水野直治*・兼田裕光*・鎌田賢一*・目黒孝司*
土岐和夫*・後藤計二*

目 次

I 緒 言	2
II 土壌採取地点一覧および凡例	2
III 分 析 法	7
IV 分 析 結 果	9
1. 土壌の性質 (pH, C, N, 腐植, C/N, CEC)	9
2. 塩基 (Ca, Mg, K)	18
3. アルミニウム, 鉄, けい酸およびリン酸 (Al, Fe, SiO ₂ , P ₂ O ₅)	27
4. 重金属 (Mn, Zn, Cu, Ni, Co, Pb)	36
V 論 議	45
1. 塩基 (Ca, Mg, K)	45
2. アルミニウムとけい酸 (Al, SiO ₂)	46
3. リン酸 (P ₂ O ₅)	49
4. 銅と亜鉛 (Cu, Zn)	52
5. マンガン (Mn)	55
VI ま と め	55
Summary	58
附 地図 No 1 ~ No 7	59

1977年11月15日受理

• 北海道立中央農業試験場環境保全部